

「国勢調査でわかる品川」

～平成 17 年国勢調査に基づく 比較・推移～

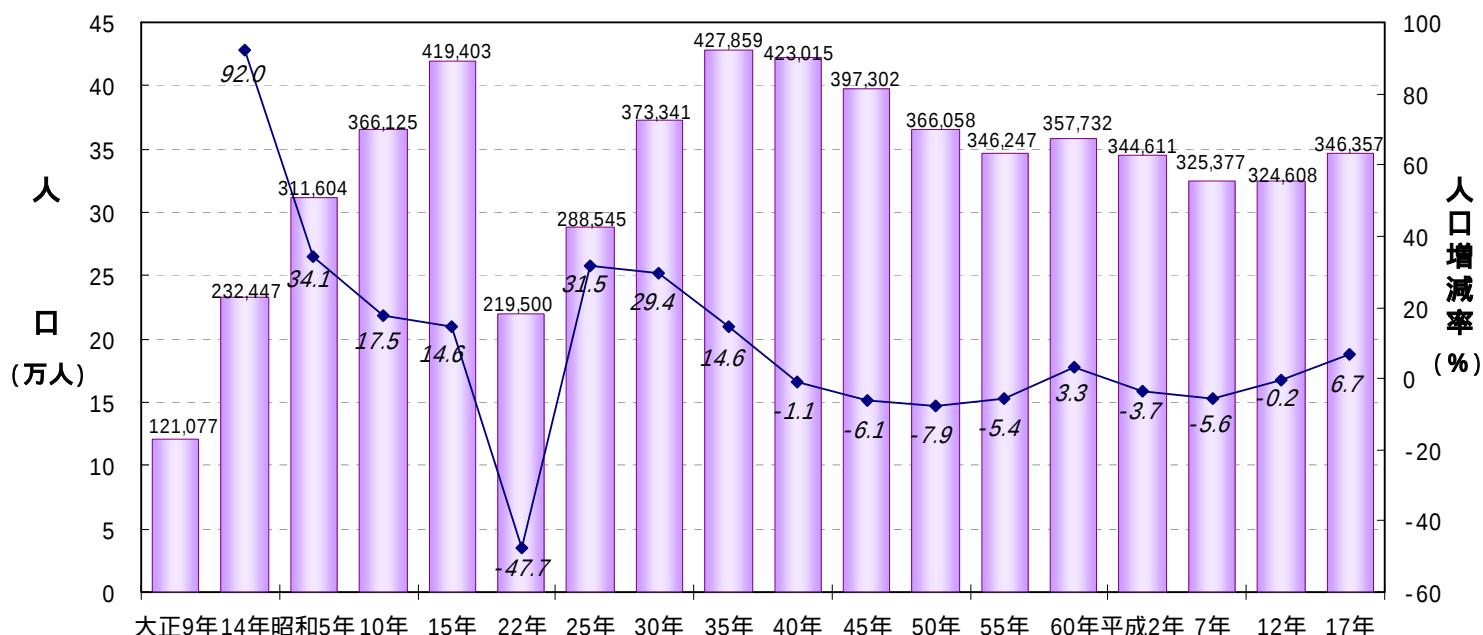
	[ページ]
1 . 人口	2
2 . 男女別人口	3
3 . 配偶関係	4
4 . 年齢別人口	4
5 . 地区別・年齢別人口	5
6 . 外国人人口	5
7 . 面積と人口密度	5
8 . 世帯数	6
9 . 世帯人員	6
10 . 住居	7
11 . 高齢者世帯	8
12 . 昼夜間人口	9
13 . 常住地による従業・通学	10
14 . 就業地・通学地による常住地	10
15 . 労働力	11, 12
16 . 就業時間	12

1. 人 口

品川区の人口は、346,357人で、前回調査(平成12年国勢調査結果数値)324,608人に比べ、21,749人増加しています。

また、平成2年から平成17年まで前回調査に対する人口増減率はいずれも減少していましたが、平成17年では、6.7%の増加に転じました。

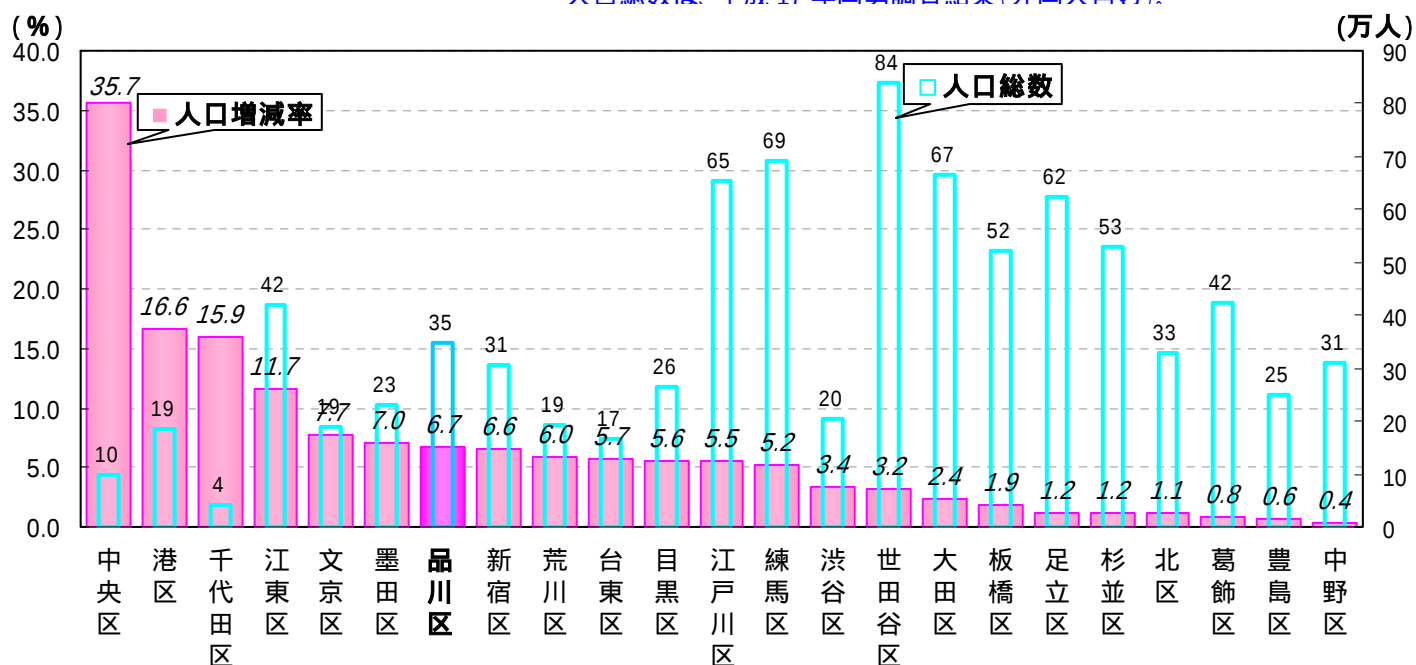
【人口と人口増減率の推移】



【23 区別人口と人口増減率】 - 平成 17 年

増減率は、前回調査結果数値に対して、その増加した比率。

人口総数は、平成17年国勢調査結果(外国人含む)。



【全国、東京都との比較】

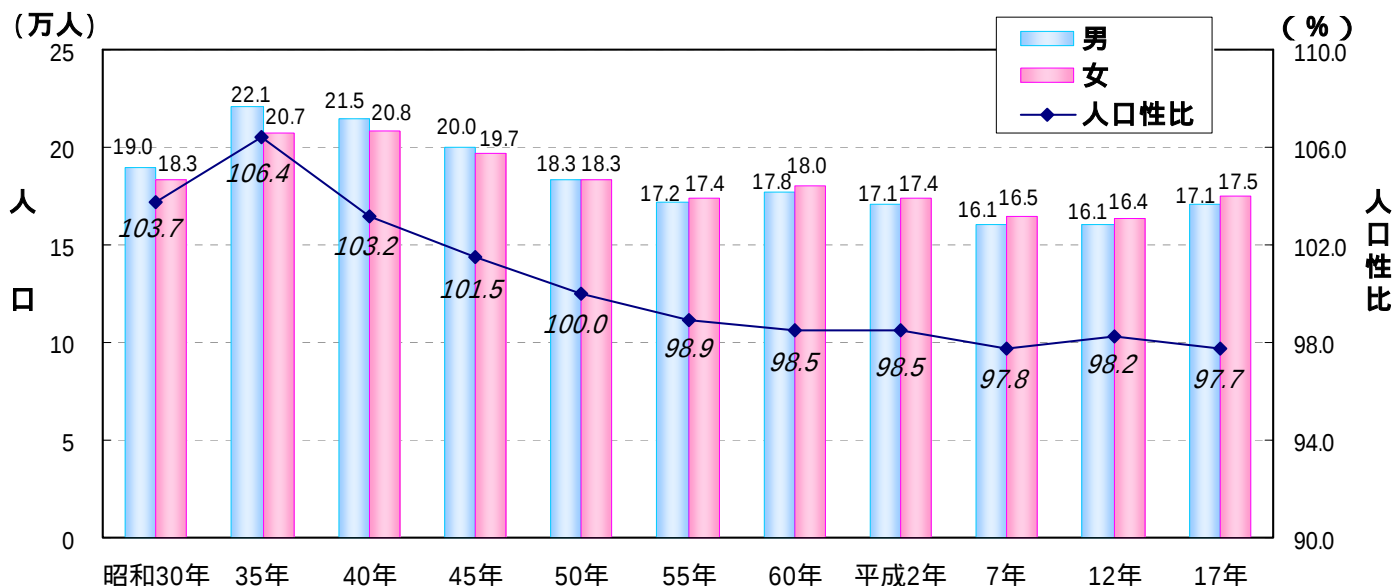
全国・都人口 全国 127,767,994 人、東京都 12,576,601 人、品川区 346,357 人
 増加率の比較 全国 0.7%、東京都全体 4.2%、23 区平均 4.4%、品川区 6.7%

2. 男女別人口

品川区の人口を男女別にみると、男性が171,176人、女性が175,181人で、女性が4,005人多く、女性100人に対する男性の数(人口性比)は、97.7で前回調査の98.2から0.5低下となっています。

男女別人口と人口性比の推移(下図)をみると、昭和55年を境に女性人口が男性人口を上回っていることが分かります。

【男女別人口と人口性比の推移】



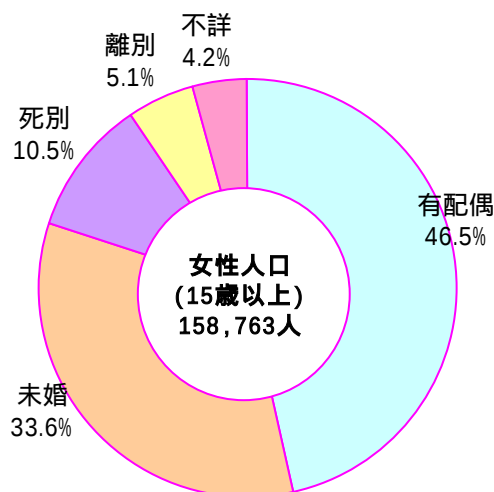
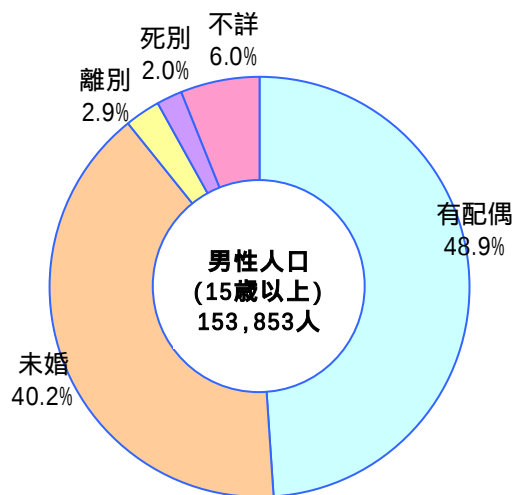
3. 配偶関係

品川区の15歳以上人口の配偶関係みると、有配偶率は男性が48.9%、女性が46.5%となっています。未婚率は、男性が40.2%、女性が33.6%となっていて男女ともに有配偶率が未婚率を上回っています。

【15歳以上人口の配偶関係 男女別、4区分】 - 平成17年

未婚とは、まだ結婚をしたことのない人。
死別とは、妻又は夫と死別して独身の人。

有配偶とは、届出の有無に関係なく、妻又は夫のある人。
離別とは、妻又は夫と離別して独身の人。



【全国、東京都との比較】

有配偶率	全国(男 60.8% 女 57.0%)、東京都全体(男 52.3% 女 51.2%) 23区平均(男 50.9% 女 49.2%)、品川区(男 48.9% 女 46.5%)
未婚率	全国(男 31.4% 女 23.2%)、東京都全体(男 37.9% 女 29.9%) 23区平均(男 38.4% 女 31.1%)、品川区(男 40.2% 女 33.6%)

4. 年齢別人口

年齢別人口は、年少、生産年齢、高齢者の3区分（総務省公表）による集計・比較です。

品川区の人口を3区分別にみると、

年少（15歳未満）人口は、32,272人（9.3%）

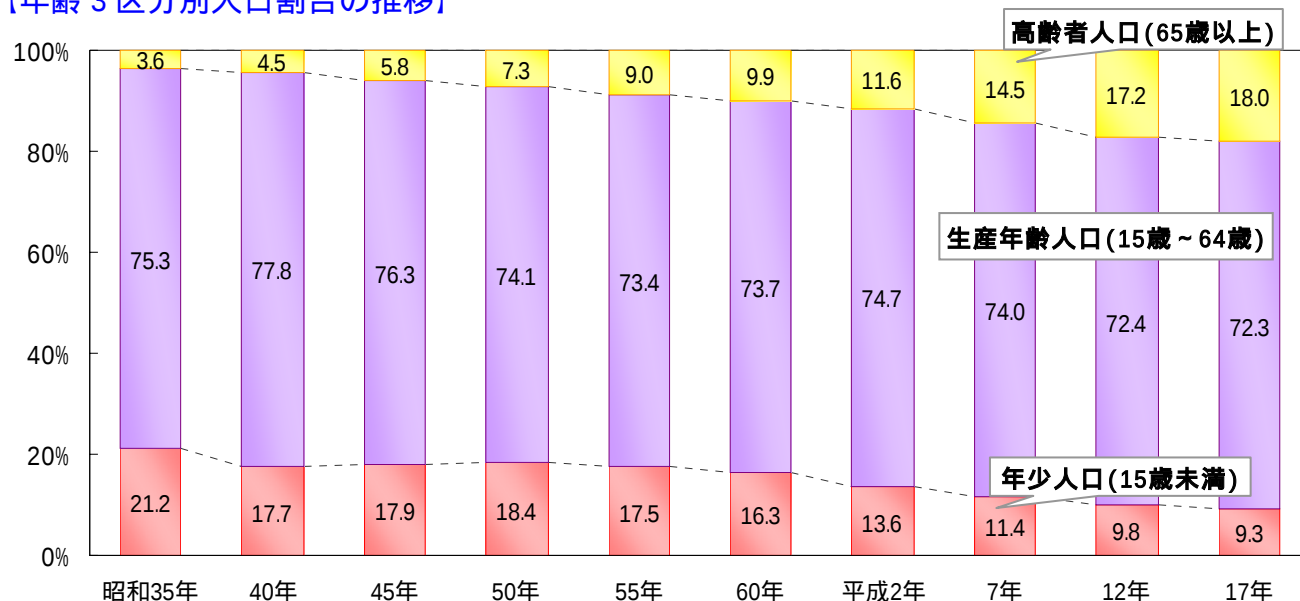
生産年齢（15～64歳）人口は、250,405人（72.3%）

高齢者（65歳以上）人口は、62,211人（18.0%）となっています。

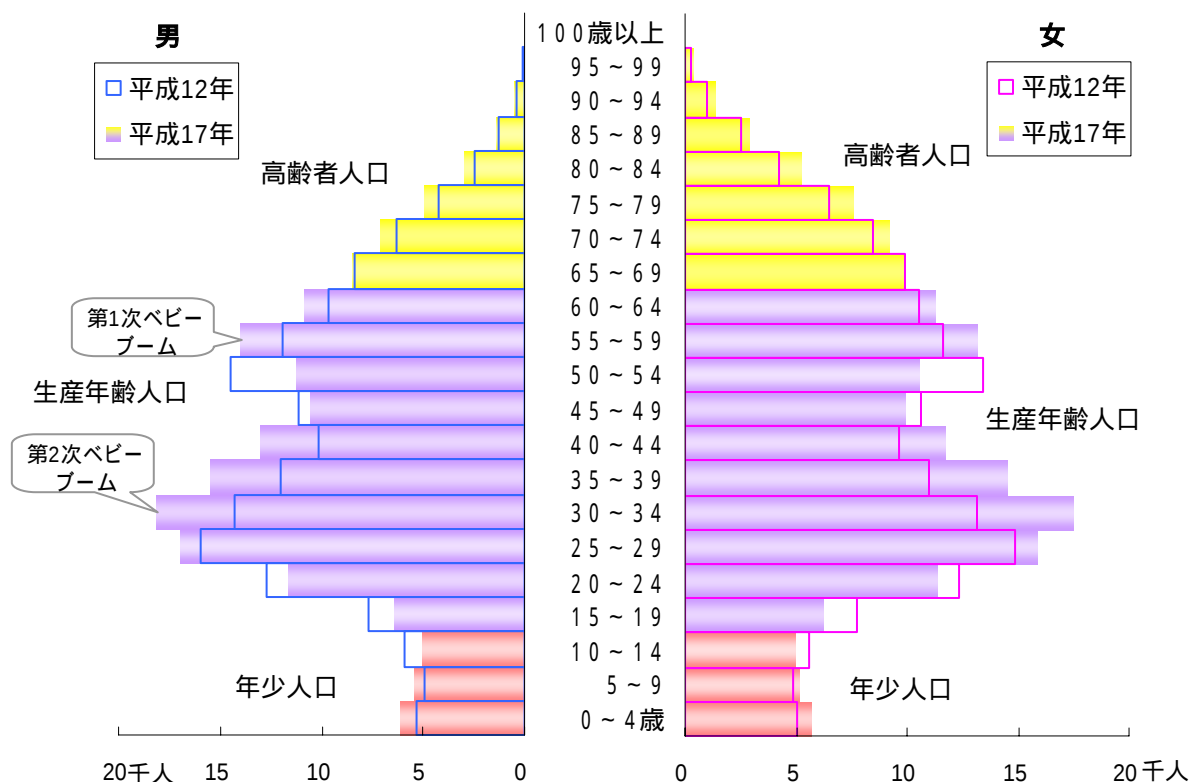
少子化状況の下、当区もその例外ではなく、区の人口に占める年少人口割合及び生産年齢人口は前回調査に比べ低くなっています。

高齢者については、前回調査に比べ大きく増加し、また割合も高くなっています。

【年齢3区分別人口割合の推移】



【人口ピラミッド 男女別、年齢(5歳階級)別の人口分布】 - 平成17年・平成12年

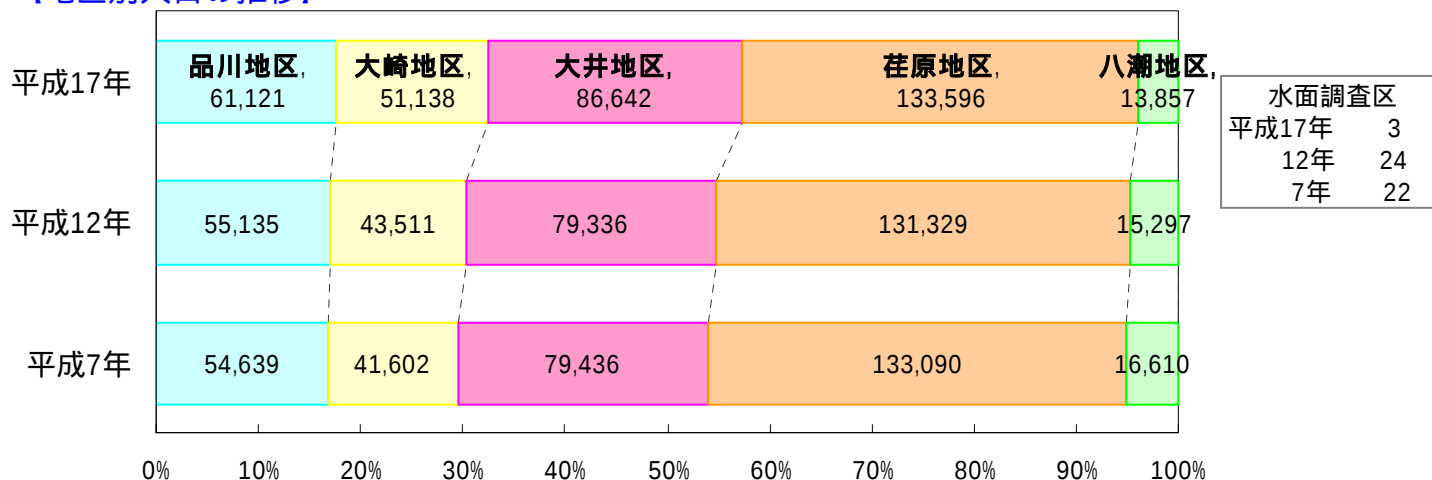


5．地区別・年齢別人口

品川区の人口を地区別にみると荏原地区が133,596人と最も多く、次いで大井地区86,642人、品川地区61,121人、大崎地区51,138人、八潮地区13,857人の順となっています。

前回調査に対する増減率は、大崎地区が14.9%と最も高く、次に品川地区9.8%、大井地区8.4%、荏原地区1.7%増加しています。一方、八潮地区は10.4%低下しています。

【地区別人口の推移】



6．外国人人口

品川区に住む外国人の総数は6,997人で前回調査6,333人より664人増加しており、品川区の人口の2.0%を占めています。

主な国籍は、中国1,617人、韓国・朝鮮1,579人、フィリピン418人、アメリカ341人、ベトナム130人、イギリス119人等です。

7．面積と人口密度

品川区の面積は、22.72 k m²で、都内全体2,186.96 k m²の1.04%、23区全体621.35 k m²の3.7%を占めています。

また、人口密度は1 k m²当たり15,244.6人で、前回調査14,287.3人に比べ957.3人過密となっています。

【全国、東京都との比較】

人口密度の比較 全国 342.7 人、東京都全体 5,750.7 人、23 区平均 13,663.2 人、**品川区 15,244.6 人**

8. 世帯数

品川区の世帯数は、177,371 世帯となっています。そのうち、一般世帯数は 177,280 世帯で、施設等の世帯数は 91 世帯です。

一般世帯とは、

住居と生計を共にしている人の集まり又は一戸を構えて住んでいる単身者(ただし、これらの世帯と住居を共にする単身の住み込みの雇い人については、雇い主の世帯に含める)

上記の世帯と住居を共にし、別に生計を維持している間借りの単身者または下宿屋などに下宿している単身者

会社・団体・商店・官公庁などの寄宿舍、独身寮などに居住している単身者

9. 世帯人員

品川区の 1 世帯当たり人員は 1.94 人です。一般世帯数と 1 世帯当たり人員の推移(左下図)をみると、一般世帯数は増加傾向にあるのに対し、1 世帯当たり人員は減少傾向にあります。平成 17 年調査では、1 世帯当たり人員が 2 人以下の数値となりました。

世帯人員別一般世帯数の推移(右下図)では、1 人世帯の一般世帯が急激に増加していることがわかります。また、2 人世帯、3 人世帯、4 人世帯は緩やかな増加に留まっていますが、5 人以上世帯は減少しています。

これは、ワンルームマンションの増加や核家族化が背景にあります。

核家族とは、

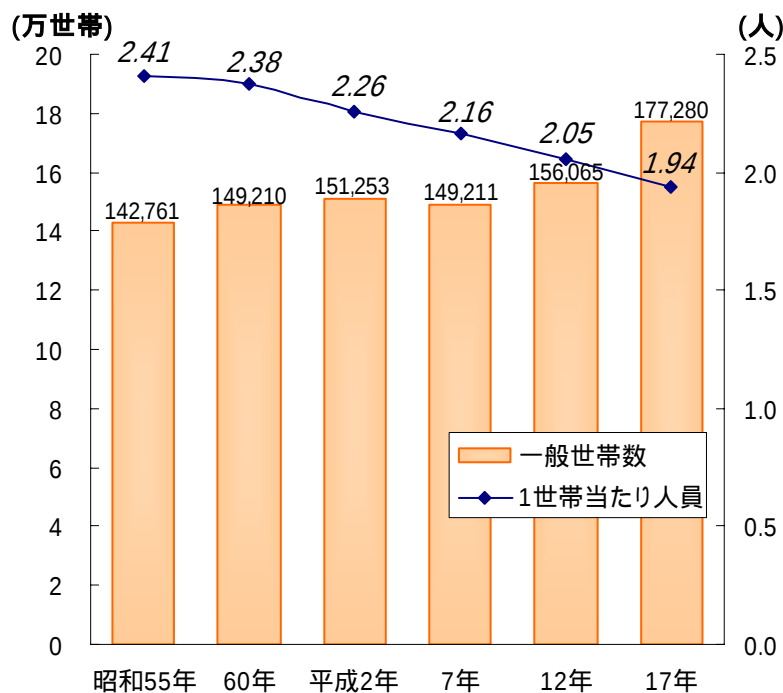
夫婦のみの世帯

夫婦と子供から成る世帯

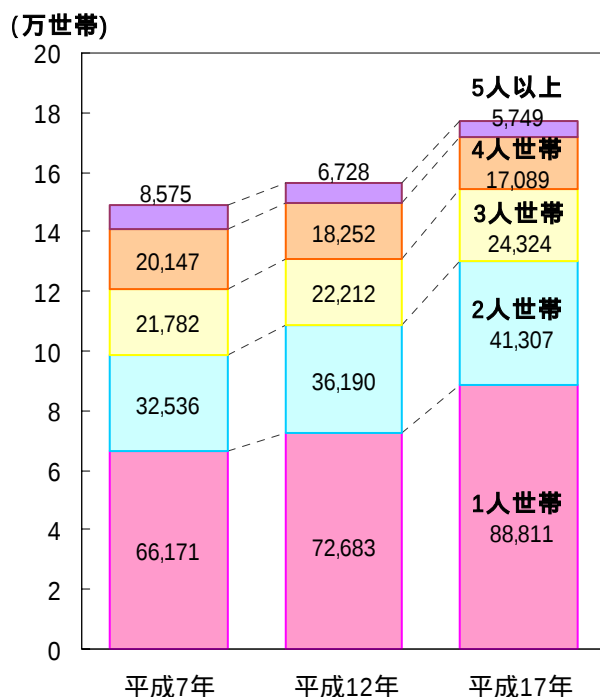
女親と子供から成る世帯

男性と子供から成る世帯

【一般世帯数と 1 世帯当たり人員の推移】



【世帯人員別一般世帯数の推移】



10. 住 居

品川区の一般世帯を住宅の建て方別にみると(左下図)、共同住宅に住む世帯が128,851世帯と全体の74.8%を占め、増加傾向が続いています。

共同住宅の建物全体の階数別世帯数(右下図)の推移をみると、1・2階建の建物に住む世帯が減少傾向にあるのに対し、3階建以上の建物に住む世帯が大きく増加していることが分かります。

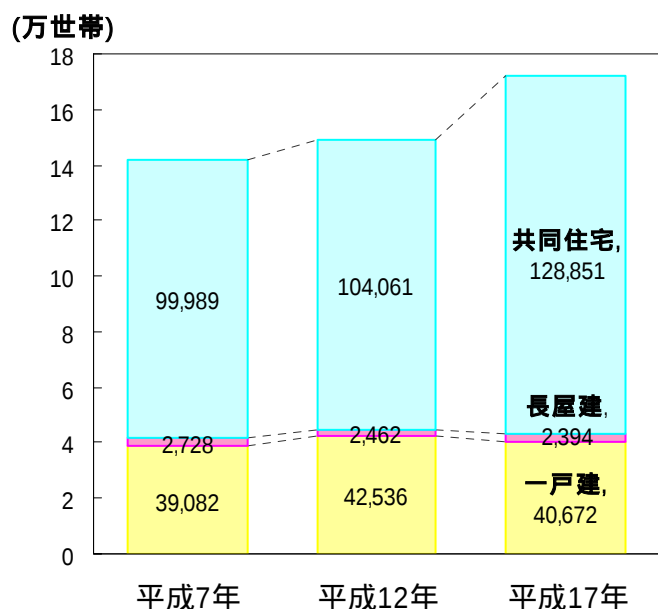
これは、住宅の建て替えて、容積率を活用した高層住宅が急激に増加していることによります。一般世帯のうち、住宅に住む一般世帯は172,281世帯で、住宅以外に住む一般世帯は4,999世帯です。

住宅に住む一般世帯を住居の種類別にみると(左最下図)、持ち家に住んでいる世帯は76,857世帯で、民営の借家に住んでいる世帯は74,598世帯、公営・都市機構・公社の借家に住む世帯は9,881世帯、給与住宅に住む世帯は7,563世帯、間借り3,382世帯です。

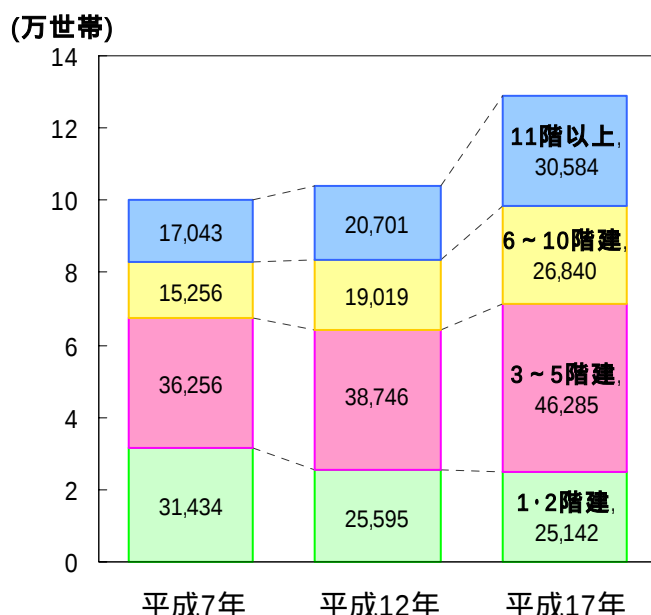
住宅とは、一つの世帯が独立して家庭生活を営むことができる永続性のある建物。

住宅以外とは、寄宿舍・寮など生計を共にしない単身者の集まりを居住させるための建物、病院・学校・旅館・会社・工場・事務所居住用でない建物、臨時応急的に造られた住居。

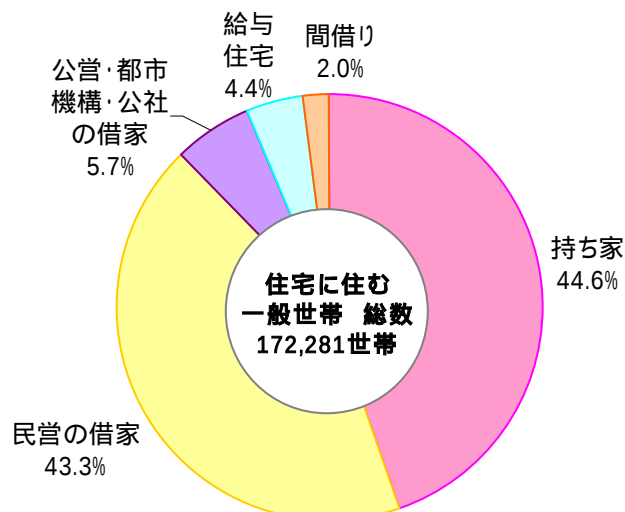
【住宅の建て方別に住む一般世帯数の推移】



【共同住宅の建物全体の階数別世帯数の推移】



【住居の種類別住宅に住む一般世帯】 - 平成17年



【全国、東京都との比較】

一般世帯数	全国	49,062,530 世帯
	東京都	5,747,460 世帯
	特別区部	4,024,884 世帯
	品川区	177,280 世帯
一世帯あたり人員	全国	2.55 人
	東京都	2.13 人
	特別区部	2.05 人
	品川区	1.94 人

11. 高齢者世帯

品川区の65歳以上の親族がいる一般世帯数は45,604世帯で、一般世帯数177,280の25.7%を占めています。前回調査41,329世帯に比べ、4,275世帯、9.4%増加しています。

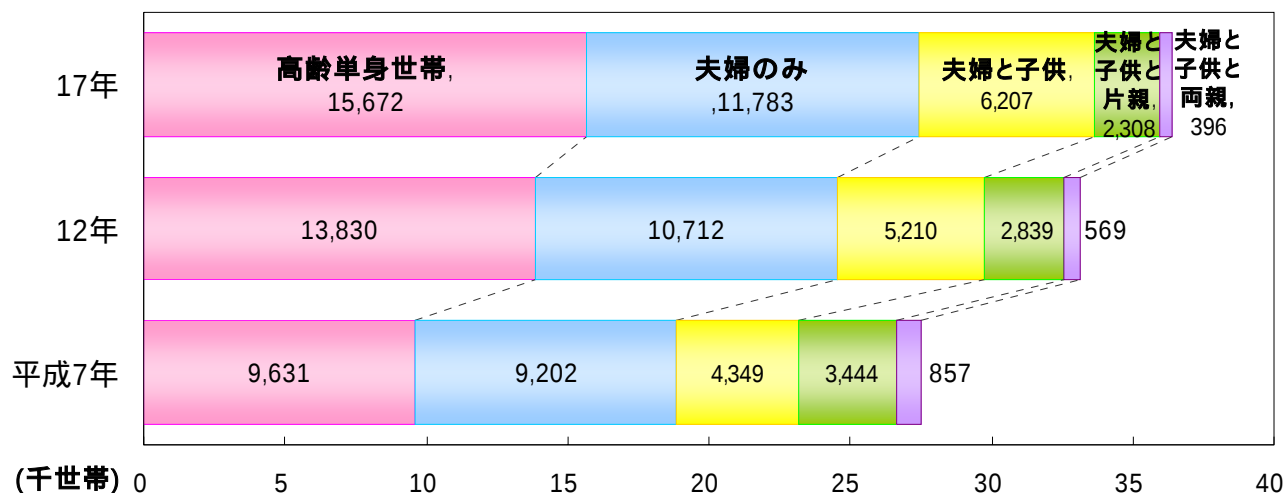
65歳以上、75歳以上の親族のいる一般世帯数の推移(左下図)をみると、65歳以上の親族のいる一般世帯、75歳以上の親族の一般世帯共に増加を続けています。

また、65歳以上の親族のいる一般世帯の家族類型の推移(下図)では、高齢単身世帯数は15,672世帯で、全体の34.4%を占めています。

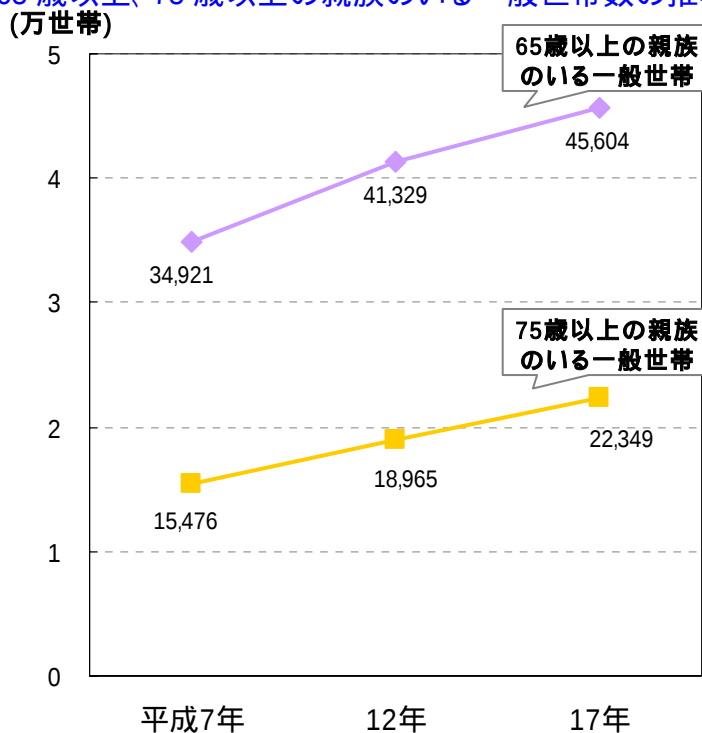
前回調査13,830世帯に比べ、1,842世帯、11.8%増加しました。

高齢単身世帯とは、65歳以上の人1人のみの一般世帯(他に世帯員がいないもの)をいう。

【65歳以上の親族のいる一般世帯の家族類型の推移】



【65歳以上、75歳以上の親族のいる一般世帯数の推移】



【全国、東京都との比較】

65歳以上親族がいる一般世帯数

全国	17,204,473 世帯
東京都全体	1,581,904 世帯
特別区部	1,123,968 世帯
品川区	45,604 世帯

65歳以上親族がいる単身世帯数 (高齢単身世帯)

全国	3,864,778 世帯
東京都全体	498,443 世帯
特別区部	371,641 世帯
品川区	15,672 世帯

12. 昼夜間人口

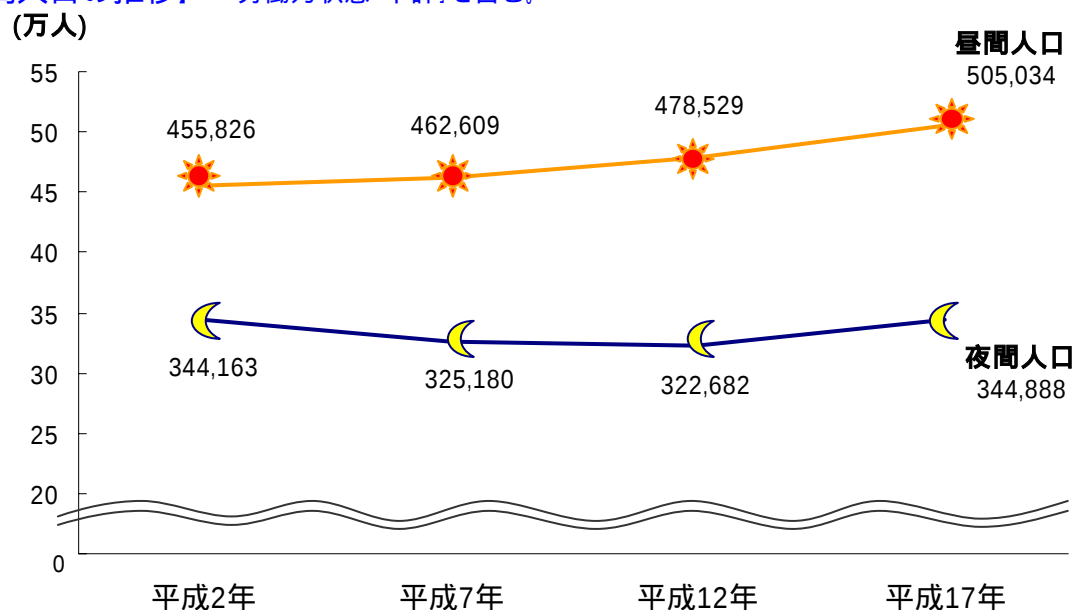
品川区の昼間人口は、505,034 人で平成 2 年から平成 17 年まで増加傾向にあります。

夜間人口は、平成 2 年から平成 12 年までは減少傾向でしたが、平成 12 年から平成 17 年は増加傾向に転じました。

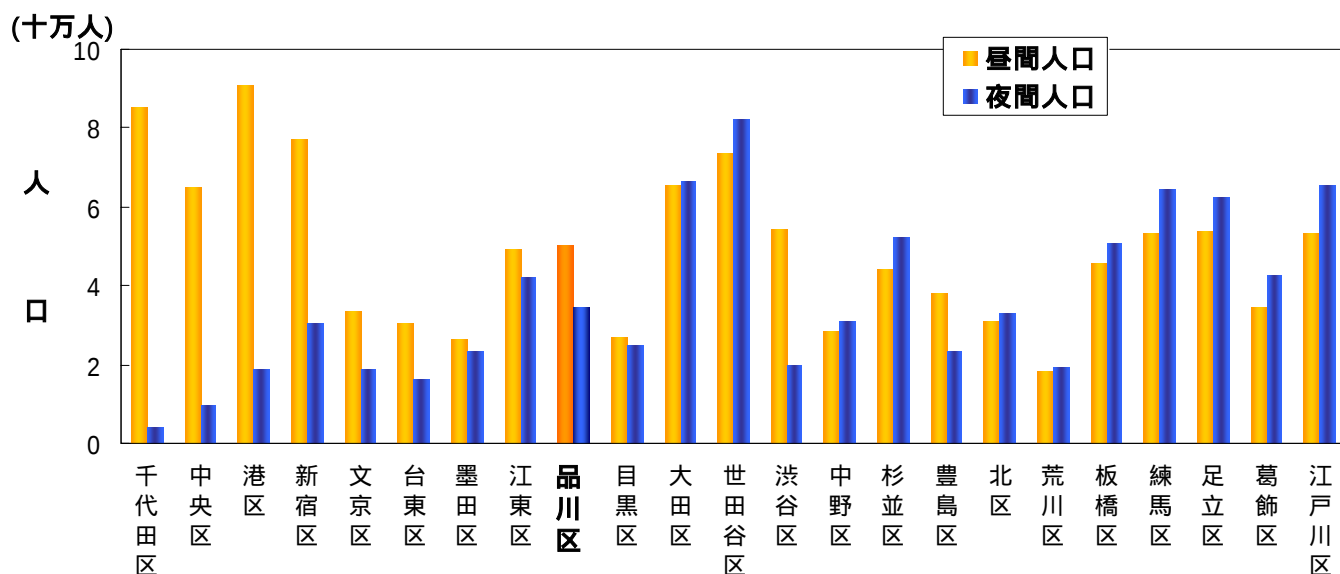
23 区別にみると、昼間人口が多い順から、港区 908,940 人、千代田区 853,382 人、新宿区 770,094 人、世田谷区 736,040 人、大田区 657,209 人、中央区 647,733 人の順となっていて、品川区は 505,034 人で 11 番目に当たります。

一方、夜間人口は、世田谷区 820,320 人、大田区 664,027 人、江戸川区 653,805 人、練馬区 643,687 人、足立区 622,500 人、杉並区 522,582 人、板橋区 507,799 人の順となっていて、品川区は 344,888 人で 10 番目に当たります。

【昼夜間人口の推移】 労働力状態「不詳」を含む。



【23 区別昼夜間人口】 - 平成 17 年



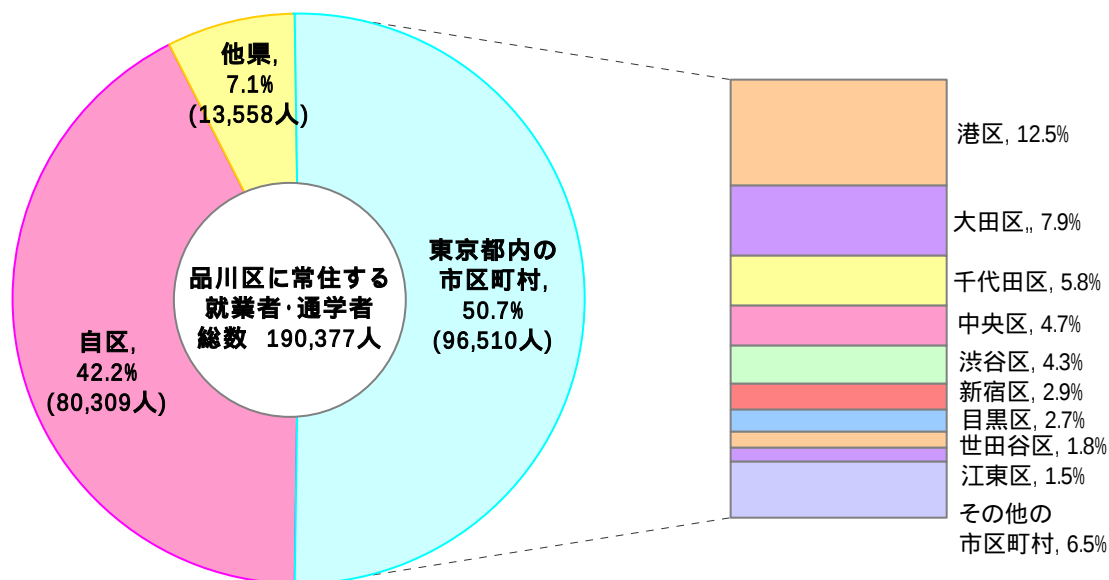
13．常住地による従業・通学

品川区に常住する 15 歳以上就業者及び通学者は 190,377 人です。そのうち、15 歳以上就業者は 174,963 人で、15 歳以上通学者は 15,414 人です。

品川区に常住して自区に従業・通学する人が 42.2%の割合に対し、自区以外の東京都内の市区町村に従業・通学している人は 50.7%の割合を占めています。その内訳は、下図のとおりです。

また、他県に従業・通学している人の内訳は、神奈川県が 9,363 人と、他県全体の 69.0%を占めています。

【品川区に常住する者の従業・通学地】 - 平成 17 年



14．従業地・通学地による常住地

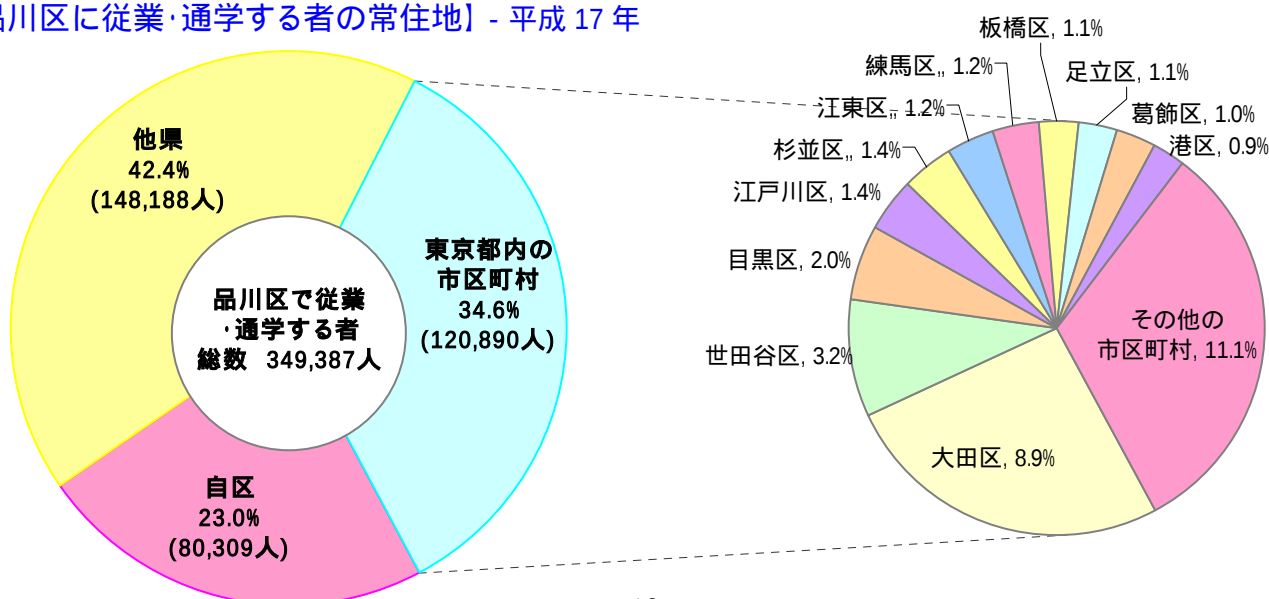
品川区で従業・通学する 15 歳以上の就業者・通学者は 349,387 人です。そのうち、15 歳以上就業者は 327,590 人で、15 歳以上通学者は 21,797 人です。

品川区で従業・通学する人で自区に常住する人は 23.0%で、自区以外の東京都内の市区町村に常住している人は 34.6%、他県に常住している人は 42.4%です。

東京都内の市区町村から品川区に従業・通学する人の常住地の内訳は下図のとおりです。

他県から品川区に従業・通学する人の常住地については、神奈川県が 86,173 人と最も多く、次いで千葉県が 28,267 人、埼玉県が 27,138 人です。

【品川区に従業・通学する者の常住地】 - 平成 17 年



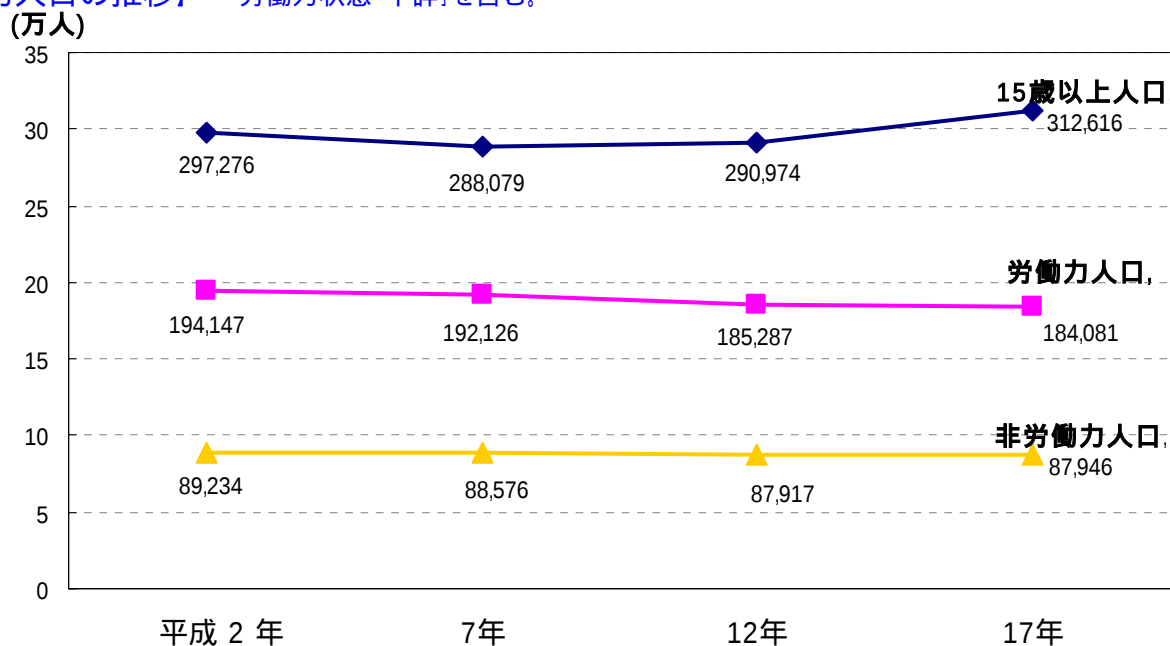
15. 労働力

品川区の労働力人口(15歳以上)は184,031人です。そのうち、就業者数は174,963人、雇用者数は153,534人です。非労働力人口(15歳以上)は87,946人で、そのうち家事41,912人で、通学が15,414人、その他が30,620人です。

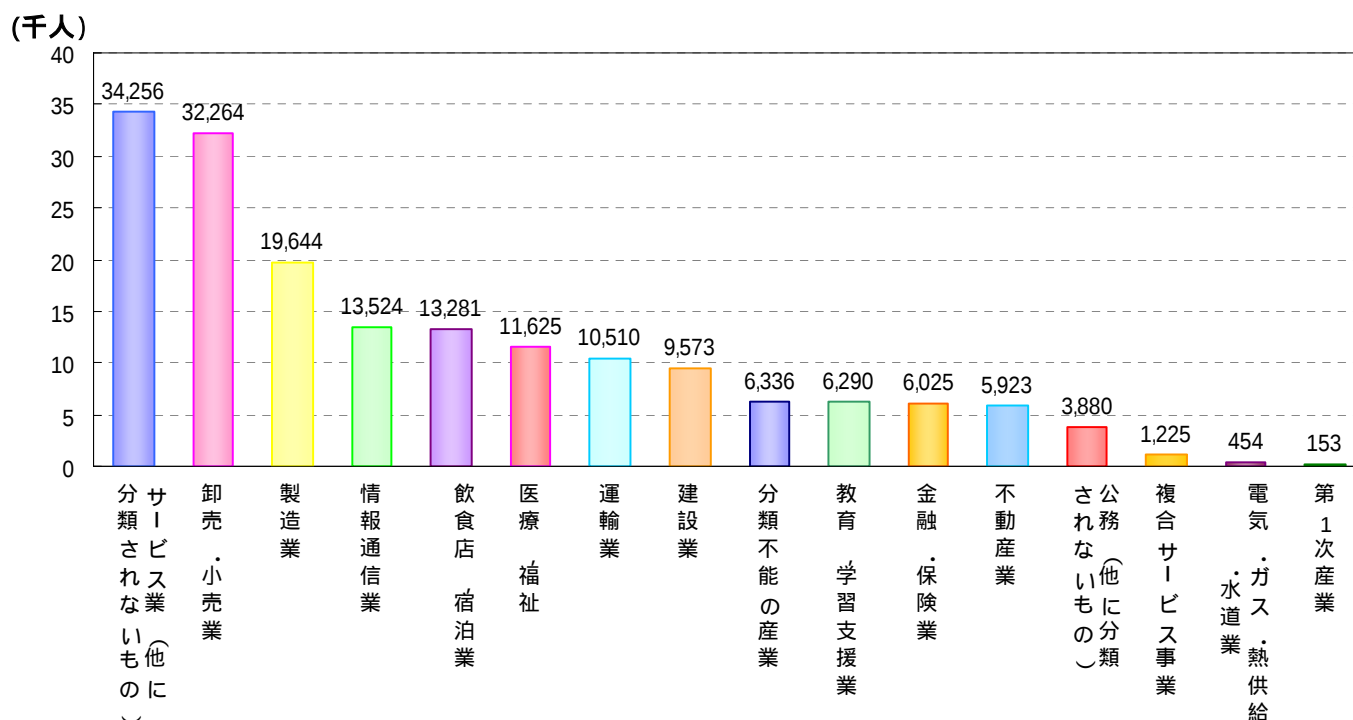
労働力人口の推移(下図)をみると、15歳以上人口は増加傾向にある中、労働力人口は減少傾向にあります。

産業分類別にみると、サービス業(他に分類されないもの)に従事している就業者が34,277人と最も多く、全体の19.6%にあたります。それに対し、第1次産業に従事している就業者は132人と最も少なく、全体の1%に満たない値になっています。

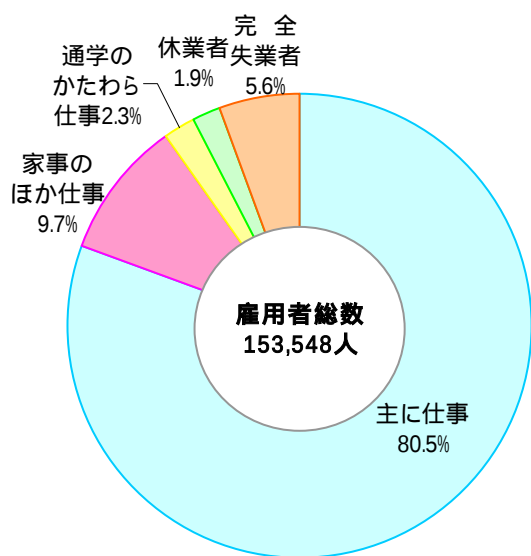
【労働力人口の推移】 労働力状態「不詳」を含む。



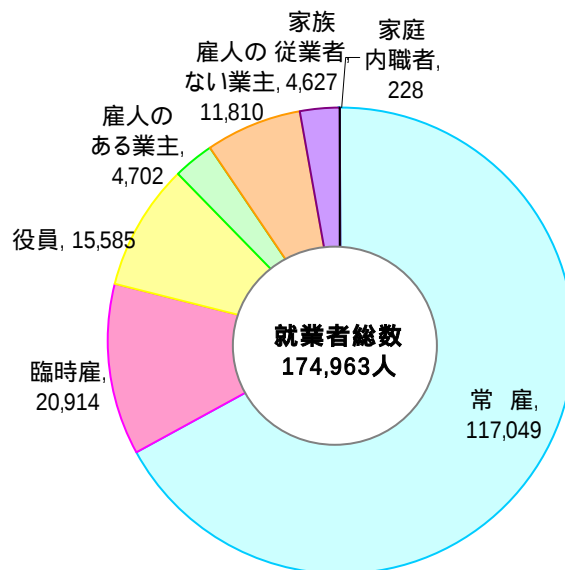
【産業分類別就業者数】 - 平成17年



【雇用の労働状態】 - 平成 17 年
雇業者総数には、「役員」を含む。



【就業者の従業上の地位】 - 平成 17 年
就業者総数には、従業上の地位「不詳」を含む。



16 . 就業時間

品川区の就業者(15 歳以上)は、男性 99,234 人、女性 75,729 人です。

平均週間就業時間の平均は、男性 46.3 時間、女性 35.9 時間です。

平均週間就業時間 49 ～ 59 時間・60 時間以上の雇業者は男性が女性の約 2 倍近くとなっています。

【男女別就業時間】 - 平成 17 年
総数には、就業時間「不詳」を含む。

